

我孫子市鳥の博物館調査研究報告第11巻：

我孫子市周辺鳥類生息情報収集検索システムの開設について

我孫子市鳥の博物館

キーワード：我孫子市，手賀沼，鳥類生息情報，インターネット

はじめに

鳥の博物館には、市民や来館者から、地域の鳥の生息状況に関する情報が多数寄せられる。しかし、これらの情報を有効に活用するためのデータベースを構築するためのしくみは、これまで鳥の博物館には整っていなかった。もし、これら館外から提供される情報を有効に活用できれば、博物館が単独で行う調査の不足を補い、地域の鳥の生息状況をより正確に把握するための有効な手段となるはずである。

鳥の博物館は、このような見通しにもとづき、平成15年（2002年）10月1日、ホームページ上に「我孫子市周辺鳥類生息情報検索閲覧システム」を開設した。本報文では、当システムの概要とこれまでの情報収集状況、および今後の運用計画を報告する。

「我孫子市周辺鳥類生息情報検索閲覧システム」の概要

当システムは、我孫子市および手賀沼流域内で観察した鳥類の記録を、インターネットを利用して、だれでも簡単に入力し、閲覧することができるシステムである。我孫子市鳥の博物館のホームページ上から新たにデータを入力したり、蓄積したデータを閲覧することができる。

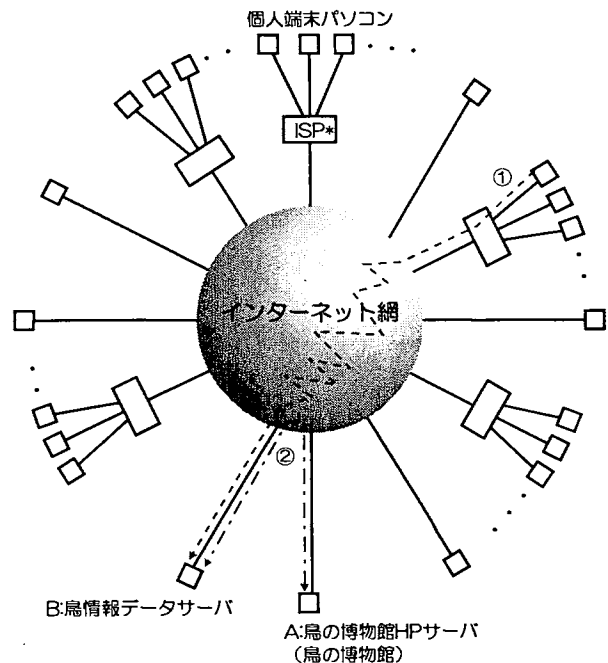
ホームページ上から入力されたデータは、鳥の博物館で内容を吟味した上で、ホームページ上に公開する。

データを閲覧する場合は、「鳥の種名」、「観察期間」、「環境区分」、「行動」の各属性から目的のデータを抽出することができる。抽出したデータは、一覧あるいは分布地図、い

れかの方法で表示させることができる。

システムの構成

「我孫子市周辺鳥類生息情報検索閲覧システム」をインターネット上で稼働させるために、個人の端末パソコンから入力された鳥情報データを保管する「B:鳥情報データサーバ」を設置し、当システムへの入り口となる「A:鳥の博物館HPサーバ」へリンクした(図1)。



①鳥類観察記録データ

②データの調整(A→B)と期間別データ(B→A)の送信

*ISP=インターネットサービスプロバイダー

図1 鳥情報収集検索システムの構成

観察データは、インターネット網を通じて「B:鳥情報データサーバ」に保存される。保存されたデータは、データ管理者（鳥の博物館）がインターネットを利用した遠隔操作で吟味（データレコードに受理・不受理を入力）し、ここで受理したレコードをインターネット上で公開する。

「B:鳥情報データサーバ」に蓄積されたデータは、定期的に鳥の博物館のメールサーバに送信される。

データの構成（レコードのフィールド構成）と入力様式

鳥の観察データは、1種類1回の観察につき1レコードとし、記録項目に合わせてフィールドを構成した。

入力項目の詳細は、表1のとおりである。

利用方法（入力方法と閲覧方法）

・データの入力手順

鳥の博物館HPトップページ（アドレスは、<http://www.bird-mus.abiko.chiba.jp>）（図2）から「みんなでつくって、みんなで作ろう！鳥データベース」をクリックし、鳥情報入力検索システム画面に（図3）入る。この画面の「データ入力ガイドにしたがって入力ください」をクリックし、データ入力画面に入る（図4-1, 2, 3）。

入力画面のガイドにしたがい、観察データをを入力する。

「観察場所」の入力は、該当地点の地図を選択し（図4-2）、拡大表示させ（図5）、地点をカーソルでポイントすると、緯度経度が自動入力される（図6）。

データをすべて入力すると、確認画面が出る。記載内容を確認して「確認OKメール送信」のボタンを押すと、データが鳥情報データサーバへ送信される。

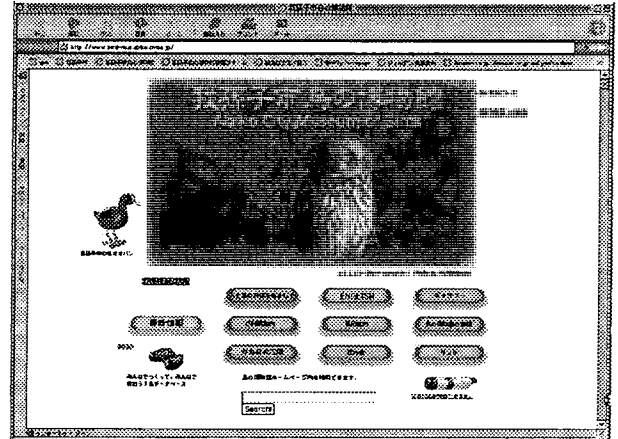


図2

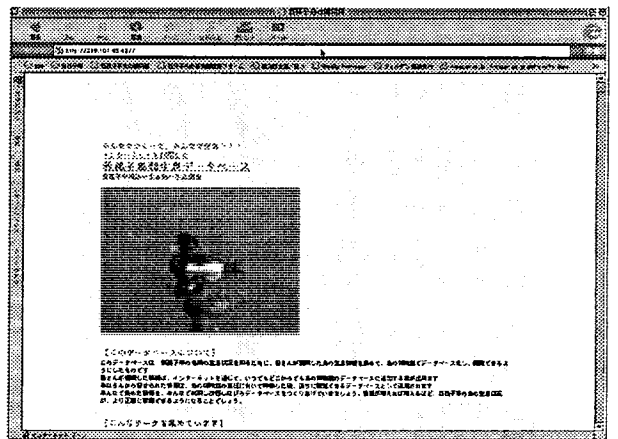


図3-1

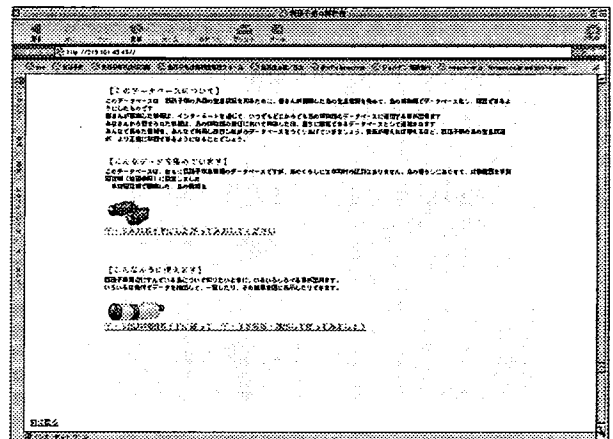
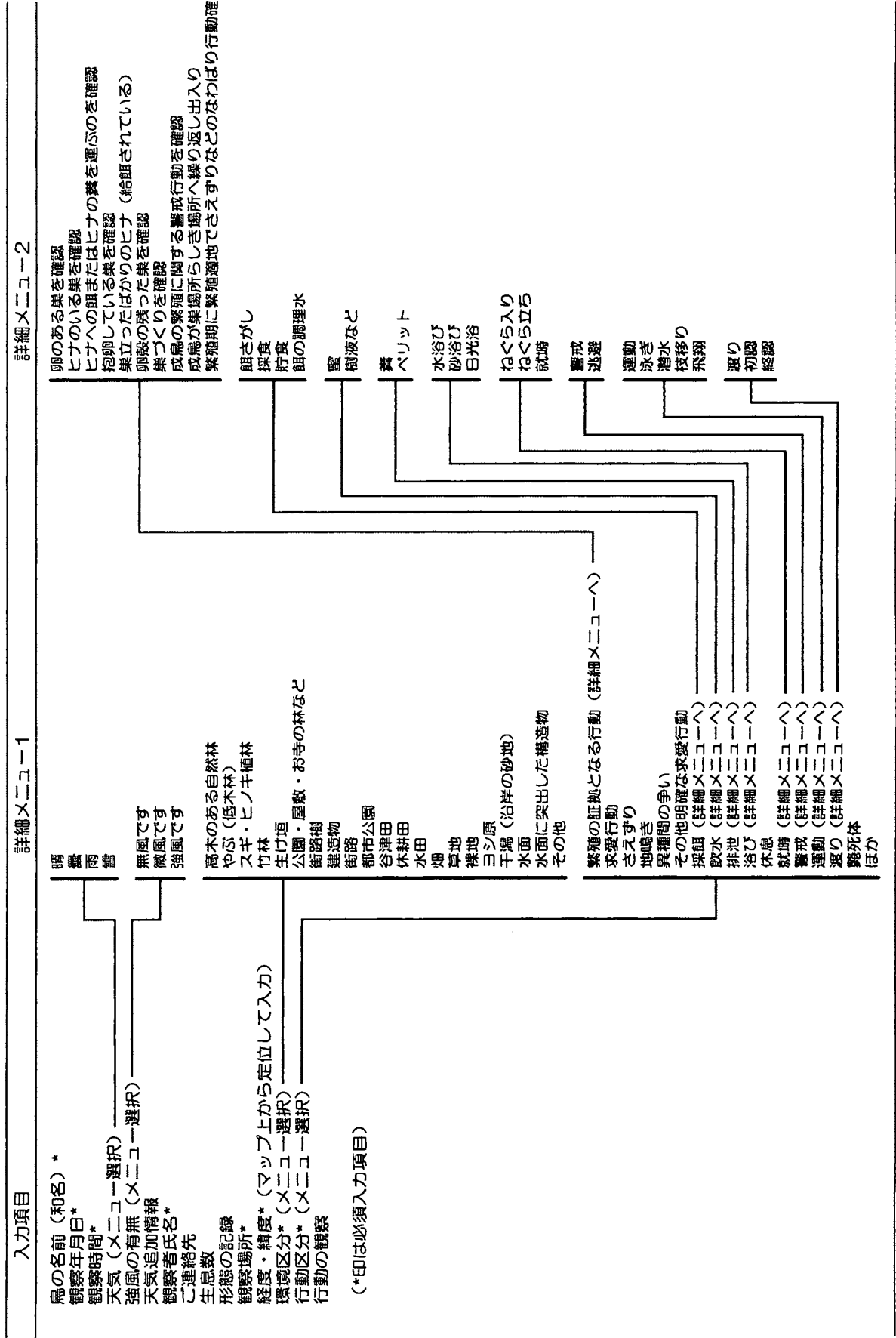


図3-2

表1 鳥情報収集検索システム項目の体系



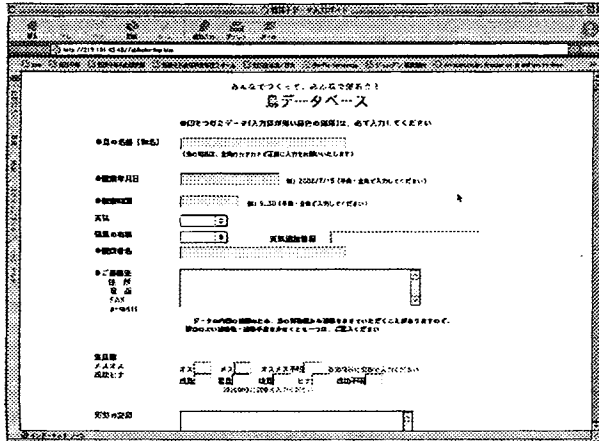


図4-1

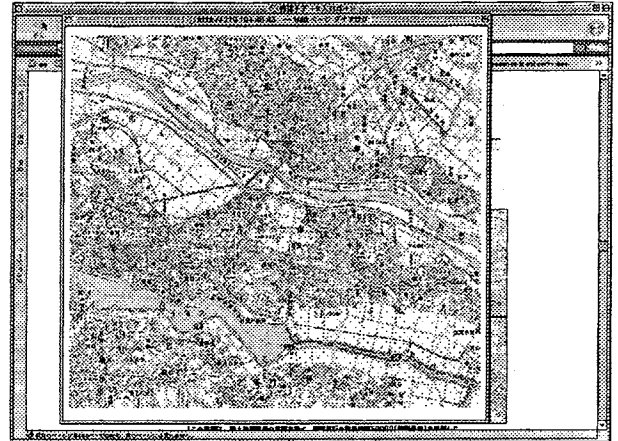


図5

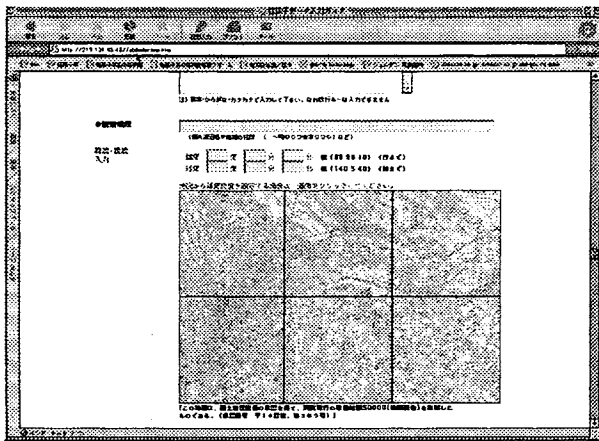


図4-2

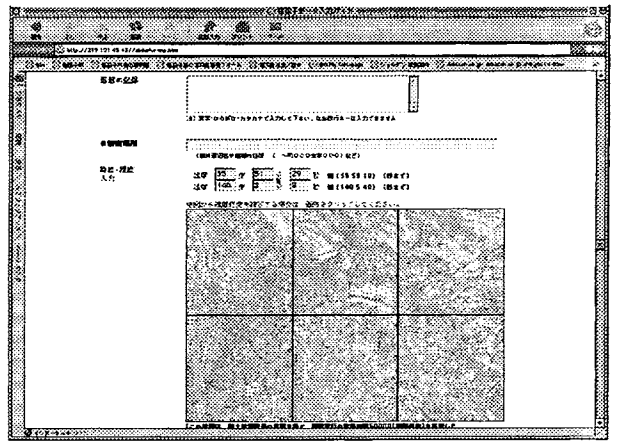


図6

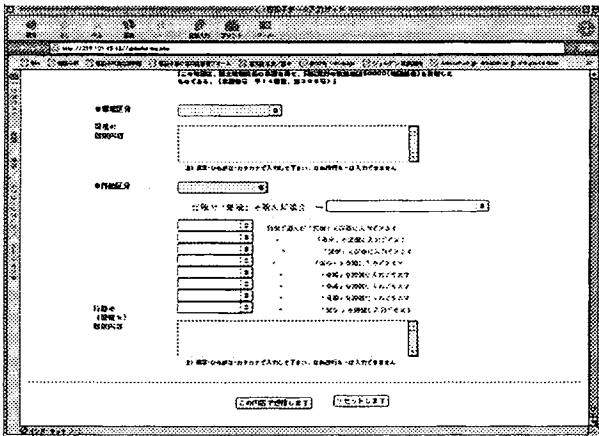


図4-3

・データの閲覧手順

鳥の博物館HPトップページ (図2) から、鳥情報入力検索システム画面 (図3) に入り、「データ出力利用ガイドに従って、データを分析・抽出して使ってみましょう」のボタンを押し、データ閲覧画面 (図7) に入る。

「期間」、「鳥の種類」、「行動」、「環境」それぞれの検索条件を手入力またはプルダウンメニューから選択し、「実行します」ボタンをクリックし、閲覧したいデータを抽出すると、検索結果の出力形式の選択画面に移る (図8)。

ここで「マップ」を選択すると、手賀沼流域の概略地図上に、3次メッシュを4等分したメッシュごとに分布図が表示される (図9)。

「一覧」を選択すると、該当データが一覧表示される (図10)。

これまでの生息情報収集状況と 今後の運用計画について

平成14年（2002年）10月1日の開設以来、平成15年2月26日現在までに68種120件の情報が寄せられ、111件の情報を受理し公開した。受理されなかった9件の情報は、全て同じ観察記録の重複入力によるものである。

観察記録の中には、これまで公開された観察記録の少ないアオバト、ヤツガシラ、アリスイ、オガワコマドリ、オオセッカなどや、手賀沼では初記録となるウミアイサの情報が含まれている。また、ジョウビタキなどの冬鳥の渡来時期を把握するために有効な情報も含まれている。

今までのところ、秋期から冬期までの情報のみであるが、今後、春期と夏期の記録も加われば、繁殖鳥類の分布や時期についても有用な情報が得られるはずである。

本システムが稼働して半年のうちに、上記のような貴重な記録が得られたが、次のよう

な問題点も見つかり、今後改良を検討している。

- ・データ入力に手間がかかる

データの入力画面が一画面で表示できないため、入力に手間がかかる。また、複数のレコードを入力する場合、同地点でも、一件一件レコードごとに地域データを入力しなければならず、効率が悪い。

- ・データ閲覧画面（一覧表示）の表示が固定的である

データ閲覧画面の一覧表示を選択した場合、表示順が固定的であり、並べ替えが出来ないため、表からデータの内容を読みとりづらい。

- ・記録地点にかたよりのある

鳥類の生息状況を面的にとらえようとした場合、情報が各地域から均一に収集されなければ現況を正確に把握できないが、現時点では、観察記録が特定の地域の情報に限られている。今後、地域ごとに定期的に情報を収集できるような体制を組織する必要がある。

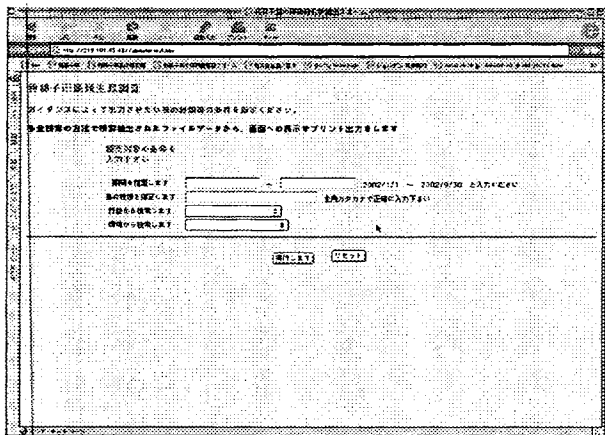


図7

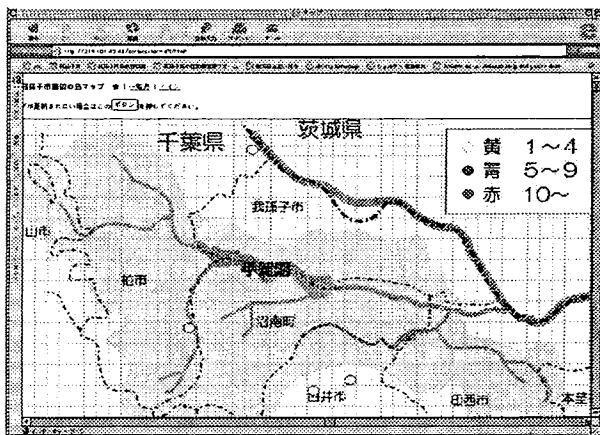


図9

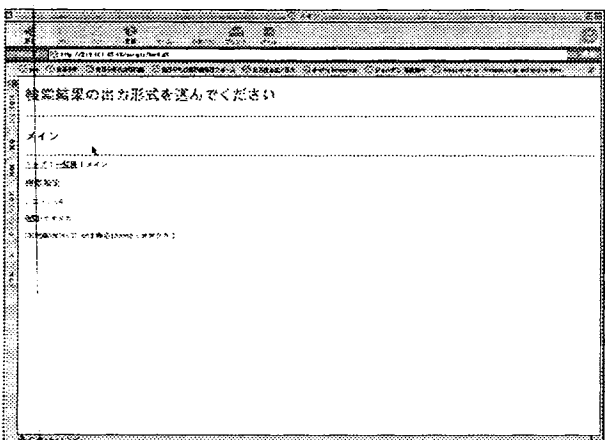


図8

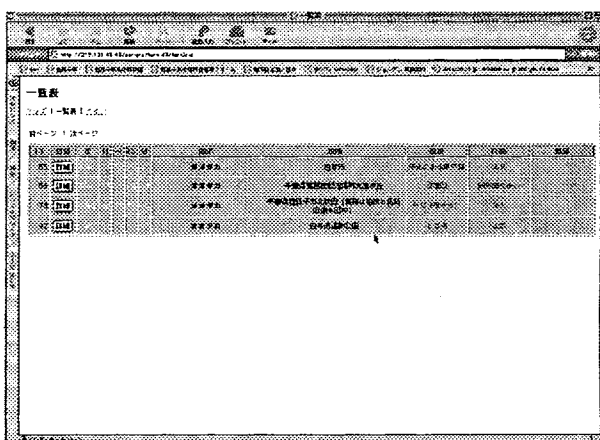


図10

A Guide to DIIBA
(Date Base System of Inhabitant Information of Birds in Abiko-city and peripheral areas)

Abiko City Museum of Birds

KEY WORDS : Abiko-city, Tega-numa, Inhabitant Information of Birds, Internet

234-3 Kohnoyama, Abiko, Chiba, 270-1145, Japan